

UROJET 5001取扱説明書

1. 測定準備

. 本体 横の電源をONにします。



. COMPLITEランプと本体前部のランプが点灯しピーブ音が鳴ると準備完了です。



2. 測定開始

. 準備完了後、START/STOPボタンを軽くポンと1回押しますとしばらくして患者データ記録用紙が(CENTERからVolumeまで)印刷されます。また、途中READYランプが点滅し、排尿待ちの状態であることを知らせます。



排尿が無ければ、READYランプが点滅した状態となり排尿されるまで待ち受け状態となります。

. READYランプが点滅したら、測定者はいつでも排尿を開始できます。



. 収尿カップ下の秤が尿を感知するとピーブ音が鳴り測定を開始すると同時に印刷も開始します。

. 排尿終了後 START/STOPボタンを軽くポンと1回押すとしばらくしてピーブ音が鳴り尿流量測定のを完了を知らせます。その間測定グラフの印刷を続け印刷終了後にピーブ音が鳴り続いてVALUEデータの印刷を行い一連の測定が終了となります。



STOPボタンを押さずに排尿が約30秒以上ない場合、装置は排尿を終了したもののみなしピーブ音が鳴りVALUEデータを印刷します。なお、終了のみなすのは収尿カップ内の揺れが無くなってから30秒です。

- 印刷終了後、準備完了の状態に戻りますので、続けて測定する場合には、**収尿カップを空にして**、再度 **START/STOP ボタン**を押すと、次の測定に移れます。(これ以降の手順については、2. 測定開始の以降を参照。)



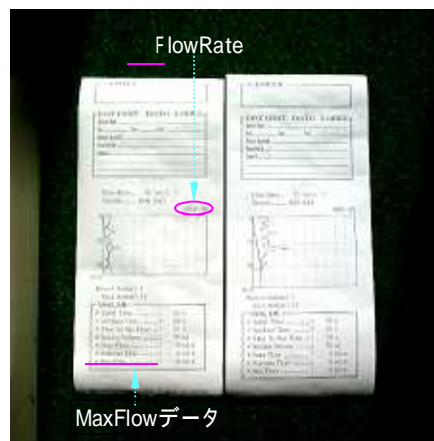
3. Flow Rateの表示変更

設定された**MaxFlowデータ**と**FlowRate**とを比較してMaxFlowデータの数値がFlowRateより¹大きいまたは²小さいかによって25ml/sのFlowRateまたは50ml/sのFlowRateのいずれかのサイズに切替表示が可能です。

(なお、初期設定上変更している訳ではない為、次回に測定した場合のFlowRateは元に戻った状態です。)

1.MaxFlowデータが50ml/s以上でFlowRate25ml/sの場合にはFlowRate50ml/sに変更してプリント。

2.MaxFlowデータが25ml/s以下でFlowRate50ml/sの場合にはFlowRate25ml/sに変更してプリント。



<切替操作方法>

設定FlowRateが当初50ml/sの場合でMaxFlowデータが25ml/s以下の場合、測定終了後 **FEED PRINTボタン**を**3秒以上**押し続けますと、本体前部のランプが一度消え再点灯しますので点灯したらボタンを離します。その後25ml/sのFlowRateでプリントが開始されます。

FlowRateが25ml/sの場合でMaxFlowが50ml/s以上の場合、上記と同様の操作により50ml/sでのFlowRateでプリント。



<メモリー機能>

この装置にはメモリー機能が付いており、10症例分のメモリーが可能です。メモリーの呼び出しについては以下の通りです。

<メモリー呼び出し操作方法>

- START/STOPボタン**を押し続けます。

本体前部のランプが点灯したのを確認します。

手はそのまま離さずに



FEED PRINTボタンを押す回数によってメモリーナンバーの呼び出しが可能で、FEED PRINTボタンを押し終えたら両方のボタンから手を離します。

例) 6症例目のデータを呼び出す場合。
START/STOPボタンを押しながら、本体前部のランプが点灯したのを確認しFEED PRINTボタンを6回押し、その後両方のボタンから手を離します。

何症例目のデータかは印刷用紙のReport Number:を参照

注) . 10症例以上データを取った場合には1症例目のデータから押し出し方式でデータが削除されます。



<メモリーデータのクリア>

- FEED PRINTボタンを押し続けます。本体前部のランプが一度消え再度点灯します。そのまま手を離さずに
- START/STOPボタンを軽く2回押し両方のボタンから手を離すとデータクリアとなり元に戻ります。
- ピープ音が鳴り、START/STOPボタンを押すとCLEAR MEMORY REPORTSとプリントアウトされます。



4. FlowRate及びVolumeの初期設定の変更

FlowRateは25 ml/sと50 ml/s、Volumeは500 mlと1000 mlの選択ができます。
(なお購入時設定は FlowRate50ml/s,Volume1000ml/sです。)

- START/STOPボタンを押しながら
- 本体横の電源スイッチをON にします。本体前部のランプが消え再点灯したらSTART/STOPボタンから手を離します。
- ピープ音が鳴り以下の内容が印刷されます。



例) Setting Initial Parameters
FlowRate...50ml/s
Volume...1000ml
Confirm?(START/STOP)
Change?(LINE FEED)
上記内容のレートを変更するにはFEED PRINTボタンを押します。

FlowRate ?
50 (START/STOP)
と印刷されて聞いてきます。FlowRateを25に変更するにはFEED PRINTボタンを押します。変更をしない場合はSTART/STOPボタンを押します。

Volume ?
1000 (START/STOP)
と印刷されて聞いてきます。VolumeRateを500に変更するにはFEED PRINTボタンを押します。変更をしない場合はSTART/STOPボタンを押します。

再度 Confirm?(START/STOP)
Change?(LINE FEED)と聞いてきます。このままでよければSTART/STOPボタンを押して下さい。ピープ音が鳴り終了します。



5. 精度の確認

月に一度位は装置で測定したデータが、正確な値かどうか500mlの水を用いて測定し必ず確認してください。

500ml ± 4% 以内は合格とします。

(500mlの水で確認し480ml 500ml 520mlの範囲が合格。)

500ml ± 4% 以内を超える場合には、下記手順にてキャリブレーションを行って下さい。



6. キャリブレーション

<用意するもの>

水500ml入りのカップ(キャリブレーションは必ず500mlで行なう。)

測定時使用の収尿カップ1個

時計:秒が測定できるもの

<キャリブレーションの手順>

- ・ 本体横の電源スイッチをONにします。



- ・ COMPLITEランプと本体前部のランプが点灯しピープ音が鳴ります。



- ・ START/STOPボタンを2秒以上押し続けて手を放すと本体前部のランプが点滅します。



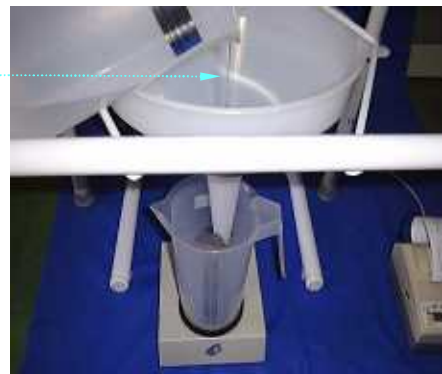
- ・ 秤の上に空の 空の収尿カップを置きます。



. 再び **START/STOP**ボタンを押します。本体前部のランプが**点灯**し、**READY**ランプが**点滅**します。



. この状態で、先ほど用意した **500ml**の水を**毎秒7ml**くらいずつストップウォッチにて時間を計りながら**60秒**～**80秒**かけて収尿カップのふちに**這わせる**ように流し、**全て**収尿カップに落とします。



. 終了後ピープ音が鳴り、**CARIBURETED K=4171**などのメッセージが印刷されてキャリブレーションは終了です。

K = の値は 1500 ~ 5000 の間であればOKです。

その後一度通常どおりの測定を**500ml**の水で行い、測定結果が**500ml ± 4%**以内であればすべて正常範囲となりそのまま終了となります。

(**500ml**の水で確認し**480ml | 500ml | 520ml**の範囲が合格。)



MTF 株式会社 メディカル・タスクフォース

本 社 〒550-0006 大阪市西区江之子島1-7-3 奥内阿波座駅前ビル702
TEL 06-6446-2100 (代) FAX 06-6446-2105

東京営業所 〒134-0091 東京都江戸川区船堀2-21-11 アイフィールド船堀505
TEL 03-5659-2522 FAX 03-5659-2556

九州営業所 〒862-0933 熊本市小峯3-5-12-405
TEL 080-5712-1283 FAX 096-369-1455

札幌営業所 〒065-0020 札幌市東区北二十条東7-2-3 デベックス207
すみれ医療(株)札幌営業所内
TEL 080-5712-1593 FAX 011-753-7261

